

スプレー用自助具の製作

1 相談内容

相談者は、自分で保湿用の化粧スプレーを顔へかけたいが、スプレーノズルを押す面積が小さく、自分の不随意運動により、それがずれて回転してしまっても顔へうまくかからないので、なんとか道具で解決できないかと来所されました。そこで、スプレーキャップをはずしてスプレーノズルを押すのではなく、そのままずれず回転せずに押す機構を取り付ける方法を提案し、本人も同意されたので製作することになりました。

2 利用者プロフィール

40 代女性、脳性まひにより身体障害者手帳 1 級で家族と暮らしていますが、親が仕事で忙しいため、本人はヘルパーを利用して 1 人暮らしと変わらない生活をされています。移動は電動車いすです。

3 対応

スプレーキャップに横穴をあけ、スプレーノズルが見えるようにします。次に上からスプレーノズルが押せるように上穴をあけてペットボトルのキャップをかぶせて押せるように製作しました。なお本人の不随意運動で、指で押す位置がズレたり滑ってスプレーノズルが回転しないように横ネジで保持し、押込量分の垂直運動ができる機構にしました。またスプレー缶はアクリル板で作った傾斜台に固定できるようにしました。



スプレーノズル部分



使用の様子

4 結果

本人は、スプレーノズルをきちんと押せるようになり、「百発百中で顔にかかるようになってうれしい。」と感想を述べられました。またスプレー缶を買い替えたら、「作ってもらった上のスプレーキャップだけをはめかえるだけで済むので楽です。」とも言われました。問題なく使用されていると思われます。